

育もう教育と文化

教育応援分 473,226 千円 (ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン)

UWC ISAK は世界中の高校 1～3 年生を対象とした、国際社会で変革を起こせるようなチェンジメーカーを育成する全寮制国際学校です。2017 年 6 月に初めての卒業生を送り出し、同年 8 月には「世界の平和と持続可能な未来を実現するために、教育の力で世界の人、国、文化をひとつにする」ことをミッションに掲げ、50 年以上の歴史を持つ国際的な民間教育機関である **United World College** に正式に加盟しました。2020 年 8 月より 7 年目を迎え、世界 70 カ国から集まった 184 名 (9 年目開始時点) が、国籍だけでなく社会経済的にも様々なバックグラウンドの違いを乗り越え、たくさんの刺激を与え合っています。

これまで新型コロナの影響を受け続けて参りましたが、2022 年は 8 月の新年度開始時点で数年ぶりに全校生徒がキャンパスに揃い、賑やかなスタートを切ることができました。ふるさと納税を通じたご支援のお蔭で、今年も半数以上の生徒に対してそれぞれの経済状況に応じた奨学金を給付することが出来、皆様に改めて御礼申し上げます (ふるさと納税を含む全体では、約 7 割の生徒に奨学金を給付)。能力とやる気があり、強い目的意識をもつ全ての若い人達にチャンスを与えられる学校になるために、皆様からお預かりしたご寄付は今後大切に奨学金基金として使わせていただきます。

これからも、地域社会に貢献しながら、新たなフロンティアに臨み、時代を切り拓いていく生徒たちを育成できますよう、たゆまぬ努力を重ねてまいります。これからもどうぞよろしくお願い致します。



育もう教育と文化

教育応援分 28 千円 (おおきくなあれ保育園)

令和 2 年から開園した大きくなあれ保育園。玄関を入るとすぐに絵本コーナーがあります。貸し出し可能になっていて、お家の方と嬉しそうに選んで帰る子ども達の姿が見られます。また、お昼寝前には好きな絵本を選んで布団に持っていく子ども達は、一人ひとりスタッフに読んでもらい、絵本の世界でスヤスヤです。

乳幼児は絵本を通じて、人間の心の変化を知ることができ、感情が豊かになります。また、想像力も豊かになるので視野が広がります。

初めてのふるさと寄付金で何を購入しようかスタッフに相談したところ、「もっと絵本を増やせたら嬉しい!」「よく読む本は、ボロボロになってしまったので、再度欲しい!」の声で、即決定しました。感謝の気持ちでいっぱいです。

令和 5 年度から小規模保育園から認可保育園になる大きくなあれ保育園です。これからも子ども中心の保育を大切に、スタッフ皆で力を合わせて頑張っていきたいと思います。

絵本を購入



育もう教育と文化

教育応援分 1,125 千円 (森のようちえんぴっぴ)

自然豊かな軽井沢で2007年4月に小さな一歩を歩み出した森のようちえんぴっぴ。園舎がないぴっぴの子どもたちは、雨でも雪でも一日中、森の中で夢中になって遊んでいます。物が無い分、たっぷり関わり、たくさん困って、たくさん工夫して…が日常です。

ぴっぴの暮らしの中に焚き火は日常光景で、特に晩秋から初夏は、暖を取ったりランチ時に焼いたり温めたり…焚き火の周りで語り合っています。薪はなくてはならない暮らしの中の一つで、子どもたちは焚き付け用に割ったり、運んだり、火をおこしたりをしています。薪小屋を作らせて頂けることは本当に有難いことです。

ぴっぴ入園希望の方が増えているここ数年、在園数も増えています。園舎がありませんので、荷物置き場は荷物を置くだけでなく、雨を凌ぐ、お昼寝場所になる…あらゆる天候の中で大切な場所になります。荷物置き場増設は暮らしやすくなり、嬉しいことです。

多くの皆さまからのご支援に心より感謝申し上げます。これからも子どもたちの生きる力を育む「ぴっぴの森」を守っていきたくと思います。機会がありましたら、ぜひ、ぴっぴの森にいらして、伸びやかな子どもたちと過ごし、心込めて調理しているランチを召し上がって頂けたら、と思います。今後ともよろしく願いいたします。



育もう教育と文化

教育応援分 199 千円 (軽井沢高等学校)

<人権教育ワークショップの開催>

10月4日、5日、6日の3日間に、1学年全員が、各2日間のワークショップを経験することにより、自身が経験したことが暴力であったこと、それは我慢しなくていいことに気づいた生徒もおり、暴力に立ち向かうための権利意識を醸成することができました。また、具体的な場面設定の中で、どう行動したらいいか話し合い、問題解決に向けた意識を醸成することができました。

<課題研究発表会の開催>

1月27日に、軽井沢プリンスホテルのメインホールを貸し切り、生徒の手づくりによる運営で実施しました。生徒は、大きなステージで堂々と発表することができ、プレゼンテーション能力を磨くよい機会となりました。また、探究テーマは多岐にわたり、一年間の活動成果が実感できる充実した内容でした。特に、個人探究は、各自の興味や進路に応じたテーマに基づく取組が語られ、生徒同士でよい刺激を与えあうと同時に、参加者からも好評でした。

今後も引き続き、軽井沢高等学校の魅力化に取り組み、心豊かでたくましい軽井沢の生徒の育成を目指してまいります。

ワークショップ



課題研究発表会



育もう教育と文化

教育応援分 104000 円 (軽井沢西部小学校)

【創立150周年記念植樹】

令和4年度、軽井沢西部小学校は創立150周年を迎えました。

全校児童に、150周年の記念のお祝いに全校のみんなでしたいことについてアンケートをとったところ、意見の中に「記念植樹」があり、実施することとなりました。

令和4年11月25日。

「全校のみんなで西部小学校150歳のお祝いに木を植えよう」と、全校で植樹を行いました。

150周年のお祝いの植樹に一人一人が関わることで、子どもたちが成長し、大人になったときに小学校の思い出として回想したり、木の成長を感じたりして、ふるさと西部小を引き続き大切にしてほしいと願って実施しました。

当日は、正面玄関前に低学年児童が「ヤマボウシ」の木を2本、学校林西側に高学年児童が「ブナ」の木を2本植樹しました。軽井沢町森林インストラクターの方や造園業者の方にも出席していただき、ヤマボウシやブナの木についてのお話もお聴きすることもでき、心に残る植樹となりました。

今後も引き続き、自然を大切に、ふるさと軽井沢を愛する子どもの育成を目指してまいります。

【ヤマボウシとブナの木を2本ずつを購入させていただきました】



育もう教育と文化

教育応援分 16,100 千円

(軽井沢風越学園)

軽井沢風越学園は、2020年4月に開校した義務教育学校です。軽井沢風越幼稚園と校舎を一つにし、3歳から15歳の子どもたちが異年齢の関わり合いを大切にしながら、じっくり、ゆったり、たっぷり、まごって、遊ぶ／学ぶ体験を積み重ねています。義務教育学校では、前期課程（1年生～6年生）159名、後期課程（7年生～9年生）69名、合計228名（2022年5月時点）の児童・生徒が在籍しています。

今回のふるさと寄附金のご支援は、多様な子どもたちの学びを継続的に支えるため、「授業料等減免制度」の原資として活用させていただき、2022年度は30名の子どもたちの授業料等を減免することができました。

子どもたちが自分の未来を自分で決めていくことができるよう、その成長を見守りながら、日々の学校運営に努めて参ります。多くのご支援をいただいたこと、心より感謝申し上げます。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。



育もう教育と文化

教育応援分 2,600 千円

(軽井沢風越幼稚園)

軽井沢風越幼稚園は、2020年4月に開園した幼稚園です。義務教育学校である軽井沢風越学園と校舎を一つにし、3歳から15歳の子どもたちが異年齢の関わり合いを大切にしながら、じっくり、ゆったり、たっぷり、まごって、遊ぶ／学ぶ体験を積み重ねています。63名（2022年5月時点）の園児は、雨の日も風の日も、一年を通じて野外で生活しています。

今回のふるさと寄附金のご支援は、森と校舎に挟まれた園庭環境の充実を目的として、水の仕組みづくりを通じた生物多様性を大切に環境づくりを行った。具体的には、雨水の利用と太陽光エネルギーを活用した小川とその小川のために地面を掘って出た土を活用したハーブガーデンを整備した。また、パーマカルチャー・デザイナーの四井真治さんをパートナーに迎え、年間10回のワークショップを通して、年少から9年生までの子どもたちと保護者と共に環境づくりを行うことができた。子どもたちが自分の未来を自分で決めていくことができるよう、その成長を見守りながら、日々の学校運営に努めて参ります。多くのご支援をいただいたこと、心より感謝申し上げます。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。

【小川づくりのワークショップの様子】

